3節 国際放送

国際放送は，世界の人々に日本に対する理解を深め，国際間の文化や経済交流の発展に資し，ひいては国際親善と人類の福祉に貢献することを目的としている。

テレビ国際放送（NHKワールドTV）は，95年4月から，北米，欧州向けにスタートした。98年4月からは，デジタル化によって，アジア・太平洋地域にも日本語，英語で1日18時間の放送を開始，10月からはほぼ全世界向けに拡大した。さらに，99年4月からは，1日の放送時間を19時間とし，10月からは24時間放送を開始した。

01年8月には，送信衛星を変更して，それまで受信できなかったアフリカ南部地域でも視聴が可能となり，NHKワールドTVは世界中をカバーすることになった。08年10月，外国人向け放送として，英語化率100％を達成した。また，邦人向け放送はNHKワールドプレミアムチャンネルを活用して，国内放送のニュース・情報番組に加え，娯楽を供する番組など，より多彩な番組編成を実現し，ノンスクランブルでの新しい放送を開始した。09年2月に番組改定を行い，NHKワールドTVは，英語ニュースを大幅に拡充し，国際放送局に新しく作ったニュース専用スタジオから24時間毎正時に編成するとともに，日本とアジアの情報を伝えるさまざまな番組についても，世界各地の好適視聴時間帯を強く意識した編成を実施した。インターネットでは，24時間動画配信を開始し，ニュースと国際放送局制作番組を放送と同時に配信している。また，米国，欧州，アジアなど世界各地で受信環境整備が進み，08年度末，NHKワールドTVは1億1,000万世帯で受信可能になった。

短波によるラジオ国際放送（NHKワールド ラジオ日本）は，35年に海外放送として開始した。戦後に一時中断，52年に国際放送として再開した。

ラジオ国際放送には，日本語と英語で放送する「全世界向け放送」（ジェネラル・サービス，一般向け放送）と，地域ごとの言語で放送する「世界各地域向け放送」（リージョナル・サービス）とがあり，07年度前半期は22言語で，1日65時間放送した。海外発信が欧米を中心にラジオ短波放送からテレビにシフトしていくのに伴い，07年度後半期から送信地域と送信時間を見直すとともに，4言語を削減し，地域に応じた効率的な情報発信を進めた。これにより07年度後半期には「全世界向け放送」がなくなり，日本語，英語を含む18言語で，1日49時間20分の放送となった。短波放送以外の新たな放送サービスとして，衛星を使用したラジオ国際放送も開始した。欧州および中東に向けて06年度後半期より1日30分，08年3月30日からは1日60分の放送を，アラビア語により行った。また，国際理解の促進を図るとともに放送番組を補完する観点から，インターネットにより国際放送のニュース等の提供を行った。

放送番組の編成

国際放送番組の編成は，年度ごとに「編集の基本計画」で編成方針，重点事項など基本事項を定める。この基本計画に基づき「放送番組編成計画」を策定し，新番組の概要，編成時間などの具体的な計画事項や，放送番組時刻表を定めている。

国際放送番組審議会は，「基本計画」の諮問に対して答申するなど，放送番組の適正を図るため必要な事項を審議し，番組の編成や制作に役立てることを目的としている。

Ⅰ．国際放送の放送番組編集の基本計画

海外の視聴者からの投書，番組内容についてのモニターや短波の受信状況についての技術モニターの報告，各種の調査などを参考にしつつ，新年度（08年度）の番組提案を基に番組編成を検討し，「平成20年度国際放送（テレビジョン・ラジオ）の放送番組編集の基本計画」の原案を策定した。原案は12月中旬の国際放送番組審議会に諮問し，了承するとの答申を受け，1月中旬の経営委員会で議決承認された。

以下に原文どおり掲げるが，西暦で統一したほか，記号などは本書の方式に合わせた。

1．国際放送番組編集の基本的な考え方

08年度の国際放送番組の編集にあたっては，放送法改正に鑑み，テレビ国際放送ではこれまで同一波で実施してきた，外国人向け，邦人向けのサービスを分離し，とくに外国人向けの英語によるテレビ国際放送を大幅に強化します。

外国人向けのテレビ国際放送，ワールドテレビでは，3か年経営計画で約束した英語化率100％を後半期改定で達成します。さらに，英語で独自に制作したニュース・番組を拡充し，英語ニュースは24時間毎正時編成を行い，放送時間を大幅に増やします。日本からの独自情報に加え，“アジ

ア情報はNHKから”という国際的なブランド力獲得をめざし，アジア各地に広がる総支局にワールドテレビのリポーターを配置するなど取材ネットワークを強化して，オリンピックを開催する中国，経済発展が著しいインドなど，激動するアジアの鼓動をくまなく伝えます。

英語番組は，日本の政治や経済，伝統文化，世界の若者が注目する最新ファッションやアニメ情報など，幅広いジャンルを網羅し，外国人向けの英語チャンネルとしての魅力を高めます。

邦人向けのテレビ国際放送では，後半期からワールドプレミアムチャンネルを活用し，国内放送の主なニュースを中心に伝えます。また，大津波などの時には,的確で迅速な情報提供に努めます。

外国人向けラジオ国際放送では，17言語による放送サービスを維持しつつ，中波・FMによる再送信や衛星ラジオなど，地域の特性に応じたメディアへ展開し,新たな聴取者層の開拓を図ります。

また，邦人向けラジオ国際放送では，内容の充実・強化に努め，在外邦人の要望に応えます。

世界の放送局がこぞって力を入れているインターネットについても，テレビ・ラジオと並ぶ第3のメディアとして，ニュース番組の動画配信や多言語での情報提供を充実させます。

NHKは，国際発信の中核を担う放送局として，日本やアジアの最新情報と，その魅力が伝わる番組を世界に向けて発信していきます。

２．編集重点事項と各波の編集方針

（１）テレビジョン国際放送

〔外国人向けサービス〕

①ニュースの大幅な強化

ニュースの放送時間を大幅に増やし，後半期中には24時間毎正時編成を実現します。毎正時ニュースの特性を生かし，間断なく日本，アジア，世界のニュースを届けます。

・『NHK NEWSLINE』は，24時間ニュース情報チャンネルの基幹ニュースとして，大幅に強化します。

・前半期より土日祝日の放送枠を増設します。また，後半期中には，放送内容時間を28分に増やします。（日本時間の深夜・早朝，土日祝日は除く）

・NHKのアジア総支局の取材ネットワークを駆使，英語リポートやロービング取材を増やし，アジア各国のニュース・最新情報を伝えます。

・経済情報も強化します。日本，アジア，欧米各地の金融専門家と結んで，24時間絶え間なく動くマーケットの情報を伝えます。

・日本やアジアのトレンド情報などの企画コーナーを設け，視聴者の多様なニーズに応えます。

②英語番組の充実

国際放送局独自制作の英語番組を増設するとともに，国内放送番組の英語化をさらに進め，番組の質的向上を図ります。

・独自制作の英語番組は，海外からの要望が多かったものの，これまで実現が難しかったジャンルに挑戦します。世界の流行発信地となった日本のファッションを紹介する『TOKYO FASHION EXPRESS』，マンガ，アニメ，ゲームの最新情報を伝える『imagine－nation』を新設します。

・日本の観光やビジネスで役に立つ，実用的な英語番組を新設します。日本のマナーを寸劇で分かりやすく教える『Sense of Japan』と，やさしい日本語会話『NIHONGO QUICK LESSON』を編成します。

・日本各地を外国人リポーターが訪ね歩く『OUT & ABOUT』。その土地のさまざまな魅力を伝えるとともに，そこに暮らす人々とのふれあいを通して日本人の素顔に迫ります。

・国内放送番組の英語化も新たなジャンルに展開します。日本の今を描き出す『ドキュメント　にっぽんの現場』，人体の不思議を解き明かす『解体新ショー』，さまざまな職業を紹介する『あしたをつかめ～平成若者仕事図鑑』など，これまでにない番組の英語版を制作します。

〔邦人向けサービス〕

①多彩な番組編成の実現

後半期にはニュース・情報番組に加え，新たに海外の邦人に娯楽を供する番組を放送し，より多彩な番組編成を実現します。

②安全情報の提供

『海外安全情報』や大津波が発生するおそれがあるときの津波情報など，海外で生活する邦人や旅行者の安全に関する必要な情報を届けます。

◇テレビジョン国際放送番組の放送時間と部門別編成比率

〔放送時間〕

世界全域……１日24時間

北米・欧州地域ではこのほか，地域衛星を使用して，各１日およそ６時間の放送を実施。

〔部門別編成比率〕

定時放送において，報道番組を60％以上，インフォメーション番組と合わせて90％以上編成。

（２）ラジオ国際放送

〔外国人向けサービス〕

○世界各地域に向けた多彩な情報発信

短波を中核としながらも，地域の特性に応じて中波やFM局でのリブロードキャスティング，衛星ラジオなど効果的なメディアへの展開を進めます。

・これまでの各言語一律の放送内容時間を見直し，地域の実情に応じた放送時間や回数を再設定するなど，ラジオサービスのあり方の抜本的な見直しを検討します。

・番組の強化も進めます。近年，世界で日本の古典文学の再評価が進んでいることを踏まえて，『日本文学館』を新設します。古典を中心に，17言語で作品を朗読，時代背景なども紹介しながら分かりやすく解説します。

◇ラジオ国際放送番組の放送時間と部門別編成比率

〔放送時間〕（１日あたり）

17言語・合計……28時間25分

〔部門別編成比率〕

定時放送において，報道番組60％以上，インフォメーション番組25％以上を編成。

〔邦人向けサービス〕

○日本情報の充実・強化

海外からの要望が多かった国内放送番組の同時放送を増やし，リアルタイムで日本の情報を伝えます。

◇使用言語および放送時間

〔放送時間〕（１日あたり）

日本語……20時間

〔部門別編成比率〕

定時放送において，報道番組60％以上，インフォメーション番組25％以上，娯楽番組を若干編成。

◇衛星ラジオサービス

06年度後半期より，イギリスのWRN（World Radio Network）に委託し，欧州，中東・北アフリカ向けにアラビア語の新たな放送サービスを開始しました。

Ⅱ．国際放送番組審議会

08年度は11回開催された。会長の諮問に応じて，「平成21年度国際放送（テレビジョン・ラジオ）の放送番組編集の基本計画」について審議し答申したほか，定時番組，特別番組についても審議し，適正化を図った。また，「国際放送番組基準の一部変更」について審議し，答申した。

08年度の主な審議内容は次のとおり。

４月　テレビ『NHK NEWSLINE』について
５月　テレビ『imagine－nation』について
６月　テレビ「Asian Inspiration ～ Singing a Song of Hope－Hanoi，Vietnam」について
７月　テレビ「NHK NEWSLINE SUMMIT EDITION Climate Change－The Global Challenge」について
９月　「平成20年度後半期の番組編成」について
テレビ『ASIAN VOICES』について
10月　NHKワールドTVの番組の今後について
11月　「平成21年度国際放送（テレビジョン・ラジオ）の放送番組編集の基本計画（案）」について
テレビ『世界に広がる金融危機～NHKワールドTVから』について
12月　「平成21年度国際放送（テレビジョン・ラジオ）の放送番組編集の基本計画（案）」について（諮問・答申）
１月　「平成21年度国際放送（テレビジョン・ラジオ）の放送番組編成計画」について
２月　テレビ『NHK NEWSLINE』について
３月　平成21年度NHKワールドTVの編成計画の一部変更について
テレビ『J－TECH 第４回 タイカ～発明魂が生んだ“αGEL”』について

番　組　解　説

Ⅰ．テレビジョン国際放送

（１）外国人向け放送

英語ニュース『NHK　NEWSLINE』を大幅に強化し，週末および深夜・早朝の時間帯に放送枠を増設した。２月には，平日の放送内容時間を28分に拡大し，24時間毎正時に編成した。国際放送独自制作の英語番組として，日本のファッションを紹介する『TOKYO FASHION EXPRESS』や，マンガ，アニメ，ゲームの最新情報を伝える『imagine－nation』等を新設したほか，『ドキュメント にっぽんの現場』『解体新ショー』等の国内放送番組に英語を付加した２か国語番組を新設した。10月には，アジア各国の知識人やジャーナリストとの討論番組『ASIAN VOICES』を新設した。さらに，２月には，世界に通用する製品を生み出す中小企業のユニークな技術を紹介する『J－TECH』や，夢に向かって懸命に生きるアジアの若者たちに密着する『Asian Inspiration』等の番組を新設した。

北海道洞爺湖サミット，激動する日本の政局，

世界的な経済危機問題，アメリカ大統領選挙等国内外の重要ニュースの放送にあたっては，国内放送番組の臨機の編成や独自番組，英語字幕ニュースにより，英語，日本語での正確かつ機動的な報道に努めた。また，岩手・宮城内陸地震を速報で伝えたほか，インドネシア中部地震等の際に出された津波監視情報について迅速に伝えた。

特集番組として，7月の北海道洞爺湖サミットにあわせ『Climate Change－The Global Challenge』等の環境関連番組を集中編成した。8月には，広島・長崎における平和記念（祈念）式典を英語，日本語で中継を行うとともに，『NAGASAKI PEACEFUL BELL DREAMS（響け長崎の鐘）』，平和アーカイブスの『The Lost Decade（被爆者 空白の10年）』等，原爆の惨禍と平和の尊さを描いた番組を3週間にわたって集中編成した。このほか，『J－MELOサマー・スペシャル』『SAMURAI SPIRIT』『Nippon Art Tour』『Sumo's Winning Ways』等を放送した。

（2）邦人向け放送

10月の番組改定で，ニュースや情報番組に加え『NHKのど自慢』を放送し，より多彩な番組編成を実現した。

以下に，08年度国際放送の番組解説を掲載した。

『NHK NEWSLINE』　（4～1月）

（*は10～1月）

T国際　月～金　10:45～11:00，11:45～12:00
12:45～13:00，14:45～15:00
15:45～16:00，16:45～17:00
17:45～18:00，22:45～22:55
火～土　2:45～ 2:55，4:45～ 4:55
6:45～ 6:55，8:45～ 8:55
土・日・祝　10:55～11:00（*10:50～11:00）
12:55～13:00（*12:50～13:00）
14:55～15:00（*14:50～15:00）
16:55～17:00（*16:50～17:00）
18:55～19:00（*18:50～19:00）
21:50～22:00（*20:50～21:00）
㊫月～金　13:45～14:00，18:45～19:00
23:45～23:55
㊫火～土　3:45～ 3:55，5:45～ 5:55
7:45～ 7:55，9:45～ 9:55
㊫土・日・祝　11:55～12:00，13:55～14:00
15:55～16:00，17:55～18:00
20:55～21:00，*21:50～22:00
22:50～23:00，*23:50～ 0:00
DE2　火～木　22:45～23:00

『NEWSLINE』　（2月～）

T国際　月～金　8:00～ 8:28，9:00～ 9:28
10:00～10:28，11:00～11:28
12:00～12:28，13:00～13:28
15:00～15:28，16:00～16:28
17:00～17:28，18:00～18:28
20:00～20:28，21:00～21:28
22:00～22:28，23:00～23:28
火～土　1:00～ 1:15，3:00～ 3:15
4:00～ 4:15，6:00～ 6:15
土・日・祝　8:00～ 8:10，9:00～ 9:10
11:00～11:10，13:00～13:10
15:00～15:10，17:00～17:10
19:00～19:10，21:00～21:10
23:00～23:10
日・月　1:00～ 1:10，3:00～ 3:10
4:00～ 4:10，6:00～ 6:10
㊫月～金　14:00～14:28，19:00～19:28
㊫火～土　0:00～ 0:28，2:00～ 2:15
5:00～ 5:15，7:00～ 7:15
㊫土・日・祝　10:00～10:10，12:00～12:10
14:00～14:10，16:00～16:10
18:00～18:10，20:00～20:10
22:00～22:10
㊫日・月　0:00～ 0:10，2:00～ 2:10
5:00～ 5:10，7:00～ 7:10
BS1　火～土　4:15～ 4:43

第1回00.4.3／日本の今，アジアの今を中心に発信する英語ニュース番組。09年2月2日，完全24時間放送が始まり，毎正時に放送している。番組タイトルも『NEWSLINE』と変更した。平日の放送枠は，深夜が15分に増えたほか，日中から夜にかけてが，これまでの15分から28分に大幅拡充された。アジア情報は，東京発だけでなく，東南アジア全体の情報をアジア総局のあるバンコクから毎日中継で伝えたほか，中国総局のある北京にも取材拠点を置き，週1回のペースで発信している。一方，番組のインターネット配信も開始し，国内外で放送と同時に視聴できるようになった。／キャスター：キャサリン小林，ジーン大谷，福島優子，原英司，花田恵吉，北川恵子，ロス三原，サックノー果奈子，小笠原陽子，ジェームス天願，マイク・デジョン，ミシェール山本，ロン・マディソン，イネス・カーショルゲン，ラミン・メレガード，カン・ヨンギ，美和ガードナー，越智さき，図師純子，レイチェル・ファーガソン，森田博士，マレー・ジョンソン／国際放送局

『News Today 30 Minutes』

T国際　月～金　20:30～21:00

㊫火～土　1:30～ 2:00
BS1　火～土　4:15～ 4:45

第１回06.4.3，最終回09.1.23／日本やアジアを中心とするその日の出来事をせき止めて伝える30分間の英語ニュース番組。さまざまな国の不特定の視聴者に理解してもらうため，物事のそれまでの経緯を補足説明したり，背景や見方について記者や専門家などの解説などを交えて伝えた。また，海外総支局の特派員などとの中継やリポートを取り入れたほか，国際放送局のニュースディレクターやアナウンサーが取材に出かけ，日本の文化事情などを紹介した。さらに総合テレビで放送されたリポートの中から日本の現状を映し出すものを英語に翻訳して放送した。

09年２月に『NEWSLINE』が24時間化されたのに伴い１月で放送を終了した。／キャスター：福島優子，ロン・マディソン／国際放送局

『News Today Asia』

T国際　月～金　22:00～22:15
㊫月～金　23:30～23:45
㊫火～土　1:15～ 1:30
BS1　火～土　4:45～ 5:00

第１回05.3.28，最終回08.12.26／アジアの最新の出来事を英語で発信する15分のニュース番組。特派員のリポートや生中継，専門家の解説を織り交ぜて，背景や今後の課題を多角的に伝えた。四川大地震やタイの政変などの重要ニュースは，発生後も節目ごとに継続して取り上げた。また国際放送局のディレクターや記者による独自企画として，北京五輪の準備状況や中国の食の安全を巡る動き，来日したインドの反差別活動家の取り組みなどをリポート。さらに，ABU・アジア太平洋放送連合の加盟局が配信するアジアビジョンにより各国の主要ニュースも紹介した。英語ニュースの刷新に伴い12月末で放送を終了したが，アジアビジョンを含めた番組の特色は新しい『NEWSLINE』に受け継がれている。／キャスター：貴島通夫／国際放送局

『海外安全情報』

T国際　１日　５～７回放送
BS1　月～金　15:55～16:00ほか

約100万人の海外在留邦人や年間延べ1,800万人の旅行者向けに，海外での治安・災害情報や旅行上の注意を伝える５分間の日本語番組。ラジオ・インターネットでも配信。テレビは３月で休止／キャスター：滝島雅子・内藤裕子アナ／国際放送局

『英語字幕ニュース』

（４～１月）毎日　1:00～17:00
（２月～）　毎日　8:00～ 0:00

海外向けの国際放送で主にニュース番組の放送中，画面最下部に英語字幕をスクロール表示し，最新ニュースのヘッドラインや円・株情報などを伝えた。重要ニュースや津波警報など緊急性の高いものは，「BREAKING NEWS」として随時速報した。英語字幕ニュースはインターネットホームページの「NHK WORLD」画面でも共用。／国際放送局

『ASIA 7DAYS』

T国際　（４～１月）　日　23:00～23:29
㊫月　2:15～ 2:44，5:15～ 5:44
8:15～ 8:44，11:15～11:44
（２月～）　日　23:10～23:39
㊫月　3:10～ 3:39，6:30～ 6:59
10:30～10:59，14:30～14:59
18:30～18:39
BS1　月　4:10～ 4:39

第１回07.10.7／さまざまな民族・文化・宗教が混在し，国や地域によって政治制度や経済の発展段階も異なるアジア。多種多様な顔を持ち，絶え間なく変化するアジアのニュース・情報を１週間でまとめ，等身大で世界に発信する週刊英語ニュース番組。その週のニュースを選んだ「News」，最も注目するアジアの今を掘り下げる「In Depth」，人の営みや街角の話題を紹介する「Kaleidoscope」，経済情報「Biz News」など全編英語の29分。２月には初の海外ロケでインド特集を行った。／キャスター：ジーン・大谷（４～１月），貴島通夫（２月～）／国際放送局，JN

『WHAT'S ON JAPAN』　(*は10～１月)

T国際　土　23:00～23:29
㊫日　2:10～ 2:39（* 2:15～ 2:44）
5:10～ 5:39（* 5:15～ 5:44）
8:15～ 8:44，11:15～11:44
BS1　日　4:10～ 4:39
㊫日　9:10～ 9:39

第１回02.4.3，最終回09.1.31／海外から注目される日本の今を，１週間の動きを中心に，世界のみならず国内に向けて英語で発信するウイークリーニュース番組。特集の「Access」では，キャスターの現地リポートや専門家による解説を交えて，時事問題を掘り下げた。また「NEWS UP」では，１週間のニュースをピックアップ。「SPORTS」では，体当たりで取材した大相撲決まり手特集から大リーグ情報まで幅広くカバー。人気コーナーの「The Scene」では，映画やアー

ト，トレンドまで幅広く取材。最新の日本をわかりやすく，深く，多彩に紹介したが，10年，500回を超える放送にピリオドを打った。／主音声・英語，副音声・日本語／キャスター：原英司，小笠原陽子，森田博士／国際放送局

『J－MELO』

T国際　（4～1月）　金　11:15～11:44
㊫土　15:15～15:44
㊫日　19:30～19:59
㊫月　23:00～23:29
㊫水　3:15～ 3:44
㊫木　8:15～ 8:44
（2月～）　月　8:30～ 8:59
㊫月　12:30～12:59，16:30～16:59
20:30～20:59
㊫火　0:30～ 0:59，4:30～ 4:59
G　日（土深夜）随時

第1回05.10.7／日本の多様なミュージックシーンを世界に発信する音楽情報番組。日本音楽最大の特徴である「多様性」に注目し，ポップス，ジャズ，クラシック，トラッドなど，ジャンルを越えたゲストを招き，日本の音楽とアーティストを世界に伝えている。08年度はビデオクリップのほか，スタジオやライブハウスでのライブなどを行い，アーティストだけでなく視聴者を含めた音楽シーンを発信した。／VJ（ビデオジョッキー）：melody.（4～9月），May J.，Shanti（10月～）／国際放送局，JIB（10月～）

『TOKYO　EYE』

T国際　（4～1月）　水　15:15～15:44
㊫木　19:30～19:59
㊫金　23:00～23:29
㊫日　3:15～ 3:44
㊫月　7:15～ 7:44
㊫火　11:15～11:44
（2月～）　水　9:30～ 9:59
㊫水　13:30～13:59，17:30～17:59
21:30～21:59
㊫木　1:30～1:59，5:30～5:59
DE2　水　22:15～22:44

第1回06.10.4／文化・美食・歴史・観光…。東京の多様な魅力を世界に向けて発信。東京人の暮らしの断面や東京を支える目に見えないインフラなど，世界最大の都市空間を形作る多種多様な情報を，時には長期密着取材を実施しながら多角的に紹介していく。全編英語で，東京について知りつつ同時に英語を勉強したい日本の視聴者にも絶好の内容。／ナビゲーター：クリス・ペプラー／国際放送局，JIB（10月～）

『OUT ＆ ABOUT』

T国際　（4～1月）　月　15:15～15:44
㊫火　19:30～19:59
㊫水　23:00～23:29
㊫金　3:15～ 3:44，12:15～12:44
㊫土　8:15～ 8:44
（2月～）　火　9:30～ 9:59
㊫火　13:30～13:59，17:30～17:59
21:30～21:59
㊫水　1:30～ 1:59，5:30～ 5:59

第1回07.10.1／日本国内のさまざまな名所や，その地に住む日本人の素顔を，英語で海外の視聴者に伝える紀行番組。03年から放送していた『Weekend Japanology』の中で好評を博したミニコーナー「OUT&ABOUT」が独立した。外国人リポーターと現地に詳しい日本人案内役が，英語で語り合いながら展開する2人旅。地元の人々との出会いを英語で通訳しながら，九州から北海道までガイドブックに載っていない「日本各地の魅力」を紹介した。／リポーター：ヴァンソン・ジリほか／国際放送局，NPN，JIB（10月～）

『Begin Japanology』　（*は10～1月）

T国際　（4月～1月）　金　8:15～ 8:44
㊫日　15:15～15:44
㊫月　*14:15～14:44
㊫月　19:30～19:59
㊫火　23:00～23:29
㊫木　3:15～ 3:44，12:15～12:44
（2月～）　金　9:30～ 9:59
㊫金　13:30～13:59，17:30～17:59
21:30～21:59
㊫土　1:30～ 1:59，5:30～ 5:59
G　月　1:15～ 1:44（* 1:45～ 2:14）

第1回07.10.5／03年度にスタートし，日本文化を海外に伝えてきた『Weekend Japanology』の後継番組。毎回，日本を象徴する文化をナビゲーターのピーター・バラカンが「外国人の視点で外国人にわかりやすく」紹介する。08年度は「茶の湯」「源氏物語」「桂離宮」といった代表的な日本文化の魅力を海外に向けて発信した。／国際放送局，NED

『Your Japanese Kitchen』

T国際　（4～9月）　月　17:15～17:44
㊫火　2:15～ 2:44，13:15～13:44
㊫水　12:15～12:44
㊫木　4:15～ 4:44
㊫日　23:30～23:59

（10～1月）　月　6:15～ 6:44
㊫月　17:15～17:44
㊫火　2:15～ 2:44，13:15～13:44
㊫水　12:15～12:44
㊫木　4:15～ 4:44
（2月～）　木　9:30～ 9:59
㊫木　13:30～13:59，17:30～17:59
21:30～21:59
㊫金　1:30～ 1:59，5:30～ 5:59
DE2　木　22:15～22:44

第1回07.4.2／和食が世界で注目されている。日本の食文化に興味を持ち和食を作りたいと考える外国人をターゲットに，英語で和食の作り方を教えるテレビシリーズ。講師にはカリスマ主婦として知られ，料理本のアカデミー賞といわれるグルマン世界料理本大賞を受賞した栗原はるみさんを起用。毎回多彩な外国人ゲストも登場し，体験型解説で外国人にもわかりやすい内容とした。／国際放送局，NED

『JAPAN BIZ CAST』　（*は10～1月）

T国際　（4～1月）　月　3:15～ 3:44
㊫水　8:15～ 8:44
㊫木　11:15～11:44
㊫金　15:15～15:44
㊫土　5:15～ 5:44，19:30～19:59
㊫日　22:10～22:39（*月　1:15～ 1:44）
（2月～）　木　8:30～ 8:59
㊫木　12:30～12:59，16:30～16:59
20:30～20:59
㊫金　0:30～ 0:59，4:30～ 4:59
DE2　火　22:15～22:44

第1回06.10.2／世界が注目する日本の経済・ビジネス情報を独特の切り口で伝える番組。「On Site」のコーナーでは東京ビッグサイトや幕張メッセといったコンベンションセンターを舞台に行われるさまざまな業界の展示会を通して，新製品や市場の最新動向を伝えた。「Gadgets」では日本ならではの気の利いた小物やアイデア商品の数々を紹介。「Special Report」では日本の優れた技術やヒット商品の開発ストーリーに迫った。／国際放送局，JN

『imagine－nation』　新　（*は10～1月）

T国際　（4月～1月）　火　8:15～ 8:44
㊫水　11:15～11:44
㊫木　15:15～15:44
㊫金　19:30～19:59
㊫土　22:10～22:39（*22:00～22:29）
㊫月　3:15～ 3:44
（2月～）　水　8:30～ 8:59
㊫水　12:30～12:59，16:30～16:59
20:30～20:59
㊫木　0:30～ 0:59，4:30～ 4:59

第1回08.4.1／世界で話題の日本のコミック・アニメ・ゲームの人気ランキングや製作現場の密着取材等を盛り込んだ情報満載の番組。毎回旬のクリエーターのインタビューも紹介するなど，世界に誇る日本のカルチャーを海外に発信した。／国際放送局，NEP

『TOKYO　FASHION　EXPRESS』　新

T国際　（4～1月）　月　12:15～12:44
㊫火　15:15～15:44
㊫水　19:30～19:59
㊫木　23:00～23:29
㊫土　3:15～ 3:44
㊫日　7:15～ 7:44
（2月～）　火　8:30～ 8:59
㊫火　12:30～12:59，16:30～16:59
20:30～20:59
㊫水　0:30～ 0:59，4:30～ 4:59
BS1　（2月～）　日　4:10～ 4:39
㊫日　9:10～ 9:39

第1回08.3.31／世界から注目される日本のファッションを世界に発信する番組。さらにパリ・ミラノなどのファッション先進地のコレクション情報なども交え，ファッションの最新トレンドを伝えてきた。ファッションショーを中心に構成する「メインコーナー」，特集コーナーの「Close Up」，建築やアートなどファッション周辺の情報を伝える「Around Fashion」，東京の街と人々のファッションを若手写真家が切り取る「Street」の4コーナーで構成。10月からは，「Around Fashion」の代わりに，さまざまなイベントなどを紹介する「TOKYO FASHION SCENE」を新設，視聴者ニーズの高い東京のファッション情報を多角的に伝えてきた。2月からは日本語字幕を付加し，BS1でも放送が始まった。／ナビゲーター：ティファニー・ゴドイ／リポーター：アンドレア・ポンピリオ（4～9月）／ナレーター：ジェームス天願／テーマ音楽：大沢伸一／国際放送局，NEP

『ASIAN VOICES』　新

T国際　最終土
（10～1月）　土　9:00～ 9:44
㊫日　0:00～ 0:44，13:05～13:49
21:00～21:44
㊫月　4:00～ 4:44，9:00～ 9:44
（2月～）　土　23:10～23:54

㊗日　3:10～ 3:54，7:10～ 7:54
11:10～11:54，15:10～15:54
19:10～19:54

第１回08.10.25／世界の人口の半分が暮らし，急激な経済成長を続けるアジアの声を世界に伝える番組。毎回，アジア各国のジャーナリストや専門家と東京のスタジオを，衛星中継やテレビ電話で結び，英語で討論，アジアで今何が起きているのか，アジアの人々はそれをどのように見ているのかを伝えた。８月に特集番組としてインド，タイ，フィリピンのジャーナリストを結び，米などの高騰をテーマにした「食糧危機」を放送。10月より月１回の定時番組となった。初回は「アフガニスタン・パキスタン情勢」をテーマに，「タリバン」の著者で著名なパキスタンのジャーナリスト，アハメド・ラシード氏とインド・アフガニスタンの識者の出演で，当事国や周辺国がタリバンのテロや米国の対テロ戦をどう見ているのかを伝えた。以下，11月「アメリカ発金融危機のアジアへの影響」（中国・シンガポール），12月「インド・ムンバイのテロ事件」（インド・パキスタン），１月「米国のオバマ新政権のアジア政策」（中国・韓国・米国），２月「世界同時不況の中で深刻さを増す雇用問題」（中国・韓国・米国），３月「経済安定化のためのアジアの新興国の役割」（中国・インド）など，アジアの声を発信した。／司会：道傳愛子解説委員（10月・12月～），ジーン・大谷（８月・11月）／国際放送局，NEP

『J－TECH』　新

T国際　金　8:30～ 8:59
㊗金　12:30～12:59，16:30～16:59
20:30～20:59
㊗土　0:30～ 0:59，4:30～ 4:59

第１回09.2.6／世界が驚きを持って注目するニッポンの“ものづくり”。その強さの秘密は，大企業によるものばかりではない。中小企業が持つ，匠の技術，独創性，日々の努力と，人の役に立つものを作りたいという熱意がさまざまな製品を生み出している。どんな技術でもその神髄には，日本のそれぞれの地域がはぐくむ歴史と伝統に支えられた職人の心と技が生かされている。番組では，日本のものづくりを支える中小企業に焦点を当て，優れた技術に加え，その技術が生まれた背景を紹介した。／国際放送局，JIB

『Asian Inspiration』　新

T国際　金　11:30～11:55
㊗金　15:30～15:55，19:30～19:55
23:30～23:55
㊗土　3:30～ 3:55，7:30～ 7:55

第１回09.2.6／アジアの若者たちが夢に向かって懸命に生きる姿を，NHK内外の若手ディレクターが同世代の視点で密着する。邦題『アジアンスマイル』としてBS1と連携して放送。／編成局，国際放送局

『Four Seasons in Japan』　新

T国際　火　1:15～ 1:25
土　1:15～ 1:25，12:50～13:00
㊗火　3:15～ 3:25，5:15～ 5:25
7:15～ 7:25
㊗土　3:15～ 3:25，5:15～ 5:25
7:15～ 7:25，16:50～17:00
20:50～21:00
㊗日　0:50～ 1:00，4:50～ 5:00

第１回09.2.3／日本を代表する雄大な自然からふるさとの身近な景勝地まで，日本列島の自然とそこに暮らす生き物たちの姿を美しい映像でつづる。／国際放送局，NEP

『Exclusive Gardens of Kyoto』　新

T国際　木　1:15～ 1:25
㊗木　3:15～ 3:25，5:15～ 5:25
7:15～ 7:25
㊗土　8:50～ 9:00

第１回09.2.5／石と木と水が巧みに組み合わされ，私たちに癒やしと憩いを与えてくれる京都の名園の，歴史的・文化的背景や作庭家の技法，見方・味わい方を美しい映像で紹介する。／国際放送局，NED

Ⅱ．ラジオ国際放送

08年度の外国人向け放送の放送時間は，17言語合わせて，１日あたり28時間25分。邦人向け放送の放送時間は，１日あたり20時間。外国人向け放送と邦人向け放送を合わせると，18言語で，１日のべ48時間25分の放送を実施している。

なお，短波放送以外の新たな放送サービスとして，衛星を使用したラジオ国際放送も開始。欧州および中東に向けて，１日60分の放送をアラビア語により実施している。

（１）外国人向け放送

日本国内の最新の動きや，アジアを中心とする国際情勢について詳しく伝え，緊急時には柔軟かつ機動的な対応で必要な情報を提供した。

リスナーのニーズが高いインドネシア語，ベンガル語，ヒンディー語，ウルドゥー語の４言語について，放送時間を30分から45分に拡大し，ニュ

ース・番組の内容を充実させた。また，『ラジオジャパンフォーカス』では，「日本文学館」のコーナーを新設し，世界で再評価が進んでいる日本の古典文学を中心に17言語で作品を朗読，時代背景なども紹介しながらわかりやすく解説したほか，「やさしい日本語」の新シリーズを放送した。

（２）邦人向け放送

日本語放送は，R1と同時の時間を増やし，リアルタイムで日本の情報を海外に伝えた。また，『北京五輪中継』や『大相撲中継』『全国高校野球選手権大会・決勝戦』『プロ野球日本シリーズ』『NHK紅白歌合戦』など，国内放送で好評な番組を海外の日本人向けに国内と同時に放送した。

特集番組は，各言語番組では，『ラジオジャパンフォーカス』枠内で，「北海道洞爺湖サミット」「北京五輪」「アフリカウイーク」をシリーズ企画で取り上げたほか，リスナーからのさまざまな質問に答える「ニッポンQ＆A」や，深刻な問題や意見が割れている問題などについて，インターネットを活用してリスナーの意見を紹介する「どっち！？」などの双方向企画を放送した。

また，岩手・宮城内陸地震，インドネシア中部地震の緊急報道をはじめ，激動する日本の政局（福田改造内閣組閣，福田総理辞任，麻生内閣組閣など）や世界的な経済危機問題，アメリカ大統領選挙関連（オバマ大統領就任式，議会演説）など内外の重要ニュースの放送に際しては，日本語をはじめ各言語で正確かつ迅速な報道に努めた。

１．ニュース

日本語放送では，日本語ニュースを１日３回放送，18時からの『TOKYO発きょうの日本』（40分）を20分間のニュース枠に更新し，アジア，アフリカ，南米などの地域に放送した。

また，海外在留邦人や旅行者のライフライン情報と位置付けている『海外安全情報』では，各地で相次ぐ爆弾テロや内紛，暴動，津波やハリケーンなどの自然の脅威，さらには鳥インフルエンザなどの感染症情報に至るまで，生命・財産を脅かすおそれのある事象に関して，いち早く注意を喚起し続けた。

各地域向けの言語放送については，英語を含む17言語で放送を継続している。従来の短波放送だけでなく，タイでは現地ラジオ局との契約で，従来の中波に加えてFM波でも放送を開始し，より多くの人に日本からの情報を届けることが可能になった。

国内のリスナー向けにR2で，『英語ニュース』『中国語ニュース』『ハングルニュース』『スペイン語ニュース』『ポルトガル語ニュース』を継続放送。新たに国内のコミュニティFM局に対し多言語のニュース・番組の提供を開始し，国際放送番組の新たな利用の道を開いた。

２．定時番組

（１）英語番組

『What's Up Japan』（19分間）

月～金曜放送／14時台は国内R2でも同時放送。冒頭５分間は解説コーナー「アングル」。日本国内の政治･経済・社会情勢を海外のリスナーにわかりやすく解説するとともに，海外，特にアジアで起きた事象については，いち早く地元のジャーナリストによる現地報告を伝えた。

４月「フセイン政権崩壊から５年」「日韓首脳共同会見」，５月「アフリカ開発会議」，７月「北海道洞爺湖サミット」，８月「ムシャラフ大統領辞任表明」，９月「タイ非常事態宣言」「自民総裁選」「リーマン破綻」，10月「金融危機」，11月「アメリカ大統領選」，12月「ムンバイテロ」，１月「ガザ情勢」「オバマ新政権の課題」，２月「北朝鮮情勢」，３月「中国全人代の焦点」など。

番組後半は他言語と共通の『ラジオジャパンフォーカス』や，外国人向け日本語講座の新シリーズ「ジャパン・マイ・ラブ」を放送した。リスナーとの双方向番組「どっち！？」は２年目。毎回１つのテーマについてウェブ上での投票を呼びかけるとともに，リスナーの意見を募集して番組で紹介した。６月「少年犯罪」，９月「穀物生産国の輸出規制」，12月「自由貿易」，３月「人員削減」。／キャスター：新村香，山田有里子，ロバート・ジェファソン

『World　Interactive』（19分間）

土曜放送（最終週は除く）／14時台は国内R2でも同時放送。第１週は近藤正（蕉肝）成蹊大学教授を講師に迎えて，季節に沿った世界の英語俳句を紹介し，リスナーから寄せられた俳句について講評を行った。第２週は大島希巳江文京学院大学准教授に英語で落語を語ってもらい，解説を加えた。その他の週はリスナーからの質問やリクエストに答えた。／キャスター：図師純子

『Listening Library』（19分間）

最終土曜放送／14時台は国内R2でも同時放送。効果音や音楽をふんだんに織り交ぜ、著名な日本文学を朗読で紹介。「羅生門」「注文の多い料理店」「ごんぎつね」「源氏物語」「よだかの星」な

ど／ナレーター：青谷優子

『Pop Up Japan』（19分間）

日曜放送／国内ではFMで放送。国内で人気上昇中のアーティストや，日本を中心にアジアで活躍するアーティストなどをゲストに迎えて，最新の音楽情報を世界に発信。「NHKみんなの広場ふれあいホール」でライブ収録した特別番組は，6月，8月，1月にテレビ国際放送でも放送した。／パーソナリティー：パックンマックン

（2）その他の言語の主な定時番組

『ラジオジャパンフォーカス』（19分間）

月～金曜放送／英語も含む17言語放送の基幹番組として日曜を除く週6日間で編成されている。国内の政治，経済，社会，テクノロジー，音楽などさまざまな分野の最新の動きを伝えた。またアジアなど各地域のニュースについても，多言語放送の特性を生かした取材・放送に努めた。年間の主な企画としては，以下の番組を放送した。

○「Beyond Borders」新設

世界をまたにかけて活躍する国際人を紹介する企画として，週1回放送。国際放送局ならではの人選で，地上波等では取り扱われていないユニークな人物が紹介され，好評を博した。

○「ニッポンQ&A」新設

海外のリスナーから寄せられる日本についての質問にきめ細やかに答えた。「日本に留学するにはどうしたらいいですか（ミャンマー）」「芸者はいますか（ブラジル）」など。

○「サミット企画・アフリカ特集」

アフリカ支援が大きなテーマのひとつとなった北海道洞爺湖サミットに合わせて，アフリカ特集を企画，アフリカを重層的に伝えた。「無尽の太陽光でアフリカ支援を（サハラ砂漠などアフリカ全般）」「レアメタルを確保せよ（南アフリカ・マダガスカル・モザンビーク）」「アフリカ音楽で世界中と対話を（セネガル）」など。

○終戦企画「戦争の記憶」

終戦記念日に合わせて，太平洋戦争関連の企画を放送，いまだに残る戦争の傷跡について多彩なラインアップでユニークなテーマを取り上げた。「原爆の火を消すために（日本・アメリカ）」「特攻花を知っていますか（日本）」など。

○テクノ企画

従来から好評のテクノ企画を継続，海外リスナーから関心の高い日本の先端技術・ユニークな技術等について，わかりやすく伝えた。「ゴキブリを寄せつけない鋼板」「宇宙を飛べ！紙飛行機」「世界初！高層ビルを下から解体」「人工筋肉で福祉現場を変える」など。

○「日本新発見」

毎月最終金曜，言語班の放送専門家ら外国人出演者が，日本での生活の中で関心を持ったテーマをリポートした。

◇主な特集・特別番組（テレビ，ラジオ）

4月『国会中継「党首討論」』
（テレビ：総合同時，ラジオ：日本語R1時差）
『日韓首脳共同会見』
（テレビ：総合同時／英語同通（同時通訳・以下同）付加・ラジオ：R1同時）
『あと100日！北京五輪は日中に何をもたらすのか』（ラジオ：R1同時）
『総理記者会見』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）

5月『日中首脳共同会見』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『「中国・四川大地震」関連ニュース』
（テレビ：総合同時／英語字幕ニュース，ラジオ：R1同時）

6月『「岩手・宮城内陸地震」関連ニュース』
（テレビ：総合同時／英語字幕ニュース，ラジオ：R1同時／多言語）
『検証　岩手・宮城内陸地震』
（ラジオ：R1同時）
『沖縄全戦没者追悼式』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『総理記者会見』
（テレビ：総合同時／英語同通付加，ラジオ：R1同時）
『環境特番「地球温暖化防止サミット」』
（ラジオ：R1同時）

7月『日米首脳共同会見～北海道洞爺湖』
（テレビ：総合同時／英語同通付加，ラジオ：R1同時）
『北海道洞爺湖サミット議長記者会見』
（テレビ：BS1同時，ラジオ：R1時差）
『NHK NEWSLINE SUMMIT EDITION』
（テレビ：英語）
『みんなで話そう！ラジオ環境サミット』
（ラジオ：R1同時）
『岩手・宮城内陸地震から1か月』
（ラジオ：多言語）
『「岩手県沿岸北部地震」関連ニュース』
（テレビ：総合同時／英語字幕ニュース，ラジオ：R1同時）

8月『「福田内閣改造」関連ニュース』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『J-MELO Live to the World Flight002』
（テレビ：英語）
『北京オリンピック中継～開会式，各種競技，閉会式』（ラジオ：R1同時）
『Peaceful Cranes Fly』
（テレビ：英語，日本語）
『平成20年　広島平和記念式典』
（テレビ，ラジオ：日本語，英語）
『NAGASAKI PEACEFUL BELL DREAMS』
（テレビ：英語，日本語）
『平成20年　長崎平和祈念式典』
（テレビ，ラジオ：日本語，英語）
『Preserving the Past , Moving into the future』（テレビ：英語）
『平和アーカイブス』（テレビ：英語）
『全国戦没者追悼式』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『第90回全国高校野球選手権大会・決勝』
（ラジオ：R1同時）
『Pop Up Japan 2008 Summer Special』
（テレビ，ラジオ：英語）
『SAMURAI　SPIRIT』（テレビ：英語）
『KABUKI SPECIAL』（テレビ：英語）
『Sumo's Winning Ways』（テレビ：英語）
『OUT & ABOUT Special』（テレビ：英語）
『源氏ファンタジー～よみがえる千年の音楽』（ラジオ：日本語）

9月『「福田首相辞任表明」関連ニュース』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時／多言語）
『自民党総裁選共同記者会見』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『「自民党新総裁に麻生氏決定」関連』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『「麻生新内閣組閣」関連』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『国会中継「所信表明演説」』
（テレビ：総合同時／英語同通付加，ラジオ：R1時差）

10月『地球ラジオ イン・プサン』
（ラジオ：R1同時）
『総理記者会見～中国・北京』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『総理記者会見』
（テレビ：総合同時／英語同通付加，ラジオ：R1同時）

11月『プロ野球日本シリーズ・第1～7戦』
（ラジオ：R1同時）
『総理記者会見～金融サミット・ワシントン』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『インドネシア中部地震』
（テレビ：日本語字幕ニュース，ラジオ：日本語）
『総理記者会見～APEC首脳会議・ペルー』
（テレビ：総合同時／英語同通付加，ラジオ：R1同時）
『国会中継「党首討論」』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1時差／日本語）

12月『総理記者会見』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『日中韓首脳会談・共同記者会見』
（テレビ：総合同時／英語同通付加，ラジオ：R1同時）
『HIROSHIMA Letters from Survivors』
（テレビ：英語）
『J－TECH』（テレビ：英語）
『Bistro Zipangu』（テレビ：英語）
『SAMURAI　SPIRIT』（テレビ：英語）
『Nippon Art Tour』（テレビ：英語）
『J－MELO Live to the World Flight 003』
（テレビ：英語）
『怒った！泣いた！喜んだ！！～ニュース2008』（ラジオ：R1同時）
『第59回NHK紅白歌合戦』（ラジオ：R1同時）

1月『Pop Up Japan SPECIAL LIVE 2009』
（テレビ，ラジオ：英語）
『おめでとう地球ラジオ2009』
（ラジオ：R1同時）
『総理記者会見』
（テレビ：総合同時／英語同通付加）
『「ニューギニア付近で地震，太平洋沿岸に津波注意報」関連ニュース』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『オバマ大統領就任式』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『国会中継「施政方針演説」』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1時差）
『特集「雇用問題」』（ラジオ：R1同時）

2月『京都　音をめぐる』（テレビ：英語）
『桂離宮　知られざる王朝の美』
（テレビ：英語，日本語）

『白洲正子が愛した京都』
（テレビ：英語，日本語）
『京都・丸竹夷にない小路』
（テレビ：英語，日本語）
『オバマ大統領　議会演説』
（ラジオ：R1同時）
3月『「キム元死刑囚拉致被害者家族と面会」関連ニュース』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）
『平成20年度 NHKのど自慢チャンピオン大会』
（ラジオ：R1同時）
『総理にきく』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1時差）
『ワタシが好きなHOKKAIDO』
（テレビ：英語）
『トンガ諸島付近でM7.7の地震関連』
（テレビ：日本語字幕ニュース，ラジオ：日本語）
『シリーズ「四川大地震　被災地は今」』
（テレビ：英語）
『環境で不況を吹き飛ばせるか～グリーン・ニューディールの挑戦』（テレビ：英語）
『「成田空港で貨物便着陸失敗炎上」関連ニュース』
（テレビ：総合同時，ラジオ：R1同時）

Ⅲ．インターネット展開

1．概　況

国際放送番組のインターネット配信については，「放送法第9条第2項第2号業務の基準」に基づき，外国語による外国人向け情報の提供を「必要に応じ，積極的に実施する」こととしており，2000年度からラジオ国際放送関連サービスを実施してきた。02年度から実施しているテレビ国際放送関連サービスも，より効果的なサービスを実現するため，これまで放送後に項目ニュースを配信してきたことに加えて，番組に含まれる著作権等をクリアしつつ，放送と同時のインターネット配信を放送法第9条第2項第5号に基づく業務として09年2月から実施した。

（1）テレビ関連サービス

①外国人向けテレビ国際放送番組については，ニュースを放送と同時にインターネットで配信するとともに，従来と同様，放送後に項目ニュースを配信する。また，ニュース以外の番組は，番組に含まれる著作権等をクリアする条件に応じて，放送と同時，および放送後の配信を行う。その際，著作権等の条件をクリアする難易度によっては，インターネット配信を行わない番組があり，また，配信を行う番組であってもその配信エリアを外国のみに限定する場合がある。（下記表参照）

②外国人向けテレビ国際放送番組のインターネット配信を行うにあたっては，
・当該番組が，外国人向けテレビ国際放送のために制作した番組（英語番組）であるか，国内放送のために制作した日本語番組を英語化したもの（英語化国内番組）であるか
・配信が，国内向けであるか海外向けであるか
により次表のとおり「仕分け」を行い，権利者の許諾を得ることが著しく困難であるか，可能であるとしても著しく経費（追加支払い額）がかかるものについては，NHKとして当面実施しないこととしている。

番組＼配信	日本国内	日本国外（海外）
英語番組	実施 ※著作権処理可能なもの	実施 ※著作権処理可能なもの
	権利処理が比較的容易（相当程度の権利者から許諾が得られるものと見込まれる）	権利処理が比較的容易（相当程度の権利者から許諾が得られるものと見込まれる）
英語化国内番組	実施しない	実施 ※著作権処理可能なもの
	権利処理が著しく困難（権利者の許諾を得ることが著しく困難であることに加え，仮にこれが得られたとしても，追加支払い額が大きく増加することが見込まれる）	権利処理にやや困難を伴う（一定程度の権利者から許諾が得られるものと見込まれる）

③国際放送関係のインターネットサービス（外国人向け情報の提供）の実施経費としては，既放送番組等の配信と放送と同時の配信をあわせて，08年度予算は3.2億円（テレビ国際放送関係が1.6億円，ラジオ国際放送関係が1.5億円，共通経費が0.1億円）となっている。

④09年2月からの放送とほぼ同時の再送信で提供しているテレビ国際放送の番組は，放送波全体の60％程度となっている。

⑤08年4～9月のアクセス数は1,743万件で，1日平均9万件程度となっている。09年2月の同時再送信開始後には1日平均20万程度となった。

⑥08年７月から12月にかけて，国際放送コンテンツ発信の新たなプラットフォーム選択テストとして，イギリス・ロンドンに本拠を置くPtoPプラットフォーム，JOOST（ジュースト）を使い，期間限定の配信実証実験を行った。実験目的としては，海外視聴者へのリーチ拡大策の一環としてのIP配信に向けた経験値の蓄積，PtoPネットワークシステムの安定性（著作権管理／個人情報保護）の検証，配信先データ（地域・年齢）取得による顧客分析の検証，著作権処理のノウハウの蓄積など，４項目を主な目的とした。

配信番組は以下のとおりである。

『NHK NEWSLINE SUMMIT EDITION』
『imagine－nation』
『TOKYO FASHION EXPRESS』
『J－MELO』

結果としては，アメリカ，日本，ブラジル，カナダ，イギリスを中心に，世界51の国と地域からアクセスがあり，それぞれ平均10分程度の視聴が確認され，各番組500以上のユニークユーザーを獲得していた。

⑦09年１月には，ワールドTVのPRのために，世界最大の動画配信ポータルサイト「You Tube」にNHK国際放送の公式ホームページ「NHKワールドチャンネル」を開設した。

（２）ラジオ関連サービス

①国際放送局のインターネット・サービス「NHKワールド・オンライン」は，2000年２月に，ニュース（22言語）と情報番組（日本語を除く21言語）で，ラジオ国際放送とほぼ同時のライブストリーミングを開始。さらに04年９月からはオンデマンドでの提供を開始し，時間に関係なく聴取可能となった。07年10月に実施した短波放送の４言語削減に伴い，「NHKワールド オンライン」での提供も，現在，ニュースが18言語，情報番組は日本語を除く17言語となっている。

②08年前期，ライブストリーミングで提供しているラジオ国際放送のニュース・番組は，英語が30分，日本語が１時間，その他16言語が７時間35分となっている。

08年４～10月までの１日平均の利用回数は，ライブストリーミング3,000回弱，オンデマンドは１万回弱である。

③08年度前期，ライブストリーミングやオンデマンドで提供しているラジオ国際放送の番組は，以下のとおりである。

（英語）
『World　Interactive』
『Japanese　Lesson』
『What's up Japan』
『Listening　Library』
（英語を除く17の外国語）
『ラジオジャパンフォーカス』
『リスナーとともに』
（日本語）
『海外安全情報』
『地球ラジオ』

④「NHKワールド オンライン」では，02年４月に，テレビ国際放送の英語ニュースの提供を動画付きで開始した。さらに，02年度中にロシア語，スペイン語，フランス語，中国語，アラビア語，ハングル，ポルトガル語によるニュースの文字情報の提供を始めた。06年４月からは中国語，08年４月からはポルトガル語で，動画付き提供を開始した。

⑤06年11月からNHK読み上げ版携帯サイトに英語ニュースを掲載し，携帯電話を使ったニュースの配信サービスも開始した。12月にはスペイン語とポルトガル語，さらに，07年２月には中国語とハングルを加え，合わせて５言語によるニュース配信サービスを行っている。07年３月からは，ポッドキャスティングによる外国語ニュースの配信も実施している（日本語を除く21言語／07年10月に17言語に縮小）。

（３）公開ホームページ概要

08年４月には「NHKワールド オンライン」の全面改定版を公開した。ドメイン名を統一し，テレビ国際放送のニュースを中心とした内容に改めた。英語ニュースの文字情報やトップページへの動画の掲載数の増加，レイアウト変更，さらに，「よくあるお問い合わせ（FAQ＝Frequently Asked Questions）」の新設など，ユーザーの利便性を高める改修を行った。

○08年度４月からの公開ディレクトリー

・英語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/
・日本語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/
・中国語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/chinese/
・アラビア語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/arabic/
・インドネシア語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/indonesian/
・ウルドゥー語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/urdu/

・スペイン語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/spanish/
・スワヒリ語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/swahili/
・タイ語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/thai/
・ハングル
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/korean/
・ヒンディー語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/hindi/
・ビルマ語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/burmese/
・ベトナム語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/vietnamese/
・ベンガル語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/bengali/
・ペルシャ語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/persian/
・ポルトガル語
http://www.nhk.or.jp/nhkworld/portuguese/

○５言語ニュースの携帯・読み上げ版

・英語　http://k.nhk.jp/daily
・中国語　http://www.nhk.or.jp/daily/kc
・ハングル　http://www.nhk.or.jp/daily/kk
・スペイン語　http://www.nhk.or.jp/daily/ks
・ポルトガル語　http://www.nhk.or.jp/daily/kp

○アクセス概況

・英語ニュース原稿を提供している「Daily News」の４～２月の平均アクセスは２万5,114件／日で，07年度平均２万1,592件／日と比較すると116パーセントとなった。
・08年度のサイト全体の１日の平均ページビューは９万程度。
・09年２月２日からワールドTVの再送信を開始した結果，初日は42万超ページビューを記録した。以降，平均で20万程度となり，その結果，４～３月の想定していたページビュー目標値4,200万程度が，実際にはおよそ5,000万を記録した。

２．運用と展望

07年度５月期までは国際放送局が公開する発信と広報のためのホームページの管理運用は，企画編成部広報に事務局を置く連絡調整会議を中心に実施していたが，07年度６月期からは予算の一元管理およびホームページ全体のブランディング管理のため，編成に管轄を移行し，編責業務を行うこととした。

08年度の組織改正により，企画編成部（広報・デジタルコンテンツ・番組審議会グループ）が管轄した。コンテンツ更新業務についてはニュース，番組，広報各部が担当し，編集業務については本館７階の国際放送局インターネット作業室で補完作業を行っている。作業室の業務は，年間契約で㈱ブレインに委託していたが，08年度後期から株式会社日本国際放送（JIB）への委託業務となり，指揮命令系統を改めた。09年２月の同時再送信開始で新たな業務が発生し，動画配信監視業務を加えたことで，完全24時間体制となった。

発信機能の強化のため06年度から行ってきた更新量の増加とコンテンツ多様化のための準備として，N-Webs改修と動画コンテンツ作成機器の整備を終えた。さらに英語ニュースコンテンツアップロード作業の簡易化のため，英語原稿自動化システムを整備，08年度４月から運用している。

広報・反響

Ⅰ．広　報

08年度の広報活動は，従来の，日本人と外国人の両方に焦点を当てていた紙媒体中心の広報活動から，09年２月の外国人向け英語放送に特化するワールドTVリニューアル周知に向けて，インターネットを組み合わせた広報活動に転化し，さまざまな改善を行った。

（１）PR活動

①07年10月から制作しているワールドTVの１分番組案内『Today's Pick UP』は，６月期から外部パワーの導入により体制を強化，個別番組・特集番組30秒PRを随時制作して，PRのバリエーションを増やした。
②09年２月からは４時間×６ローテーションの編成に伴い『Today's Pick UP』を廃止し，新たに４種類の基本スポットを100本程度制作し編成予定を組んだ。放送前の30秒スポット『Choice of The Day』，放送時間まで30分後，60分後というふうに放送予定を告知する『Coming UP』，ホームページの案内『Web PR』，１分スポットの『This Time Tomorrow』を基本として組み合わせ，特集PR等を随時加えることで，豊富なPRのバリエーションとした。
③08年夏期特別編成の特集シリーズ『PEACE ARCHIVES』の放送にあたり，MCに『Begin Japanology』のピーター・バラカンキャスターを起用して，番組に続く放送内容を紹介する１分アヴァンタイトルを制作した。

④08年７～12月にかけて，イギリス・ロンドンに本拠を置くPtoPプラットフォーム，JOOST（ジュースト）を使い，期間限定の配信実証実験を行った。この実験には国際放送のコンテンツを発信する新たなプラットフォームの選択としての面と，新しいインターネット技術を持つ海外著名企業とのコラボレーションによる広告効果を求める面とがあり，国内外からの注目を集めた。
⑤09年１月には，ワールドTVのPRのために，世界最大の動画配信ポータルサイト「You Tube」にNHK国際放送の公式ホームページ「NHKワールドチャンネル」を開設した。ワールドTVの多種多様な番組内容を紹介するために，放送済み番組の30秒短縮版およびPRスポットを掲載し，順次更新している。
⑥09年２月のワールドTVリニューアル告知のために，世界各国の有力紙・誌に広告を出稿した。広告クリエイティブはNHK内で行い，契約および出稿事務を広告代理店に委託した。
　出稿先は以下のとおりである。

媒体種			
新聞	対象地域	部数	期日
International Herald Tribune	Atlantic版（世界版）	240,000	2／2朝
IHT Euro Reach Le Monde	フランス	340,000	2／7
IHT Euro Reach The Observer	イギリス	350,000	2／8
IHT Euro Reach Suddeutsche Zeitung	ドイツ	430,000	2／9
Handelsblatt	ドイツ（経済新聞）	160,000	2／2朝
South China Morning Post	香港	100,000	2／2朝
業界誌			
INFOSAT	ドイツ	80,000	1／30
Ecran Total	フランス	10,000	2／4
BROADCAST	イギリス	12,000	2／6
合計：印刷媒体（新聞）162万部 （雑誌）　10万2,000部			

⑦２月のリニューアル告知のために「BBCワールド」「CNN」「France24」「Financial Times」の各ホームページへのバナー広告を積極的に展開した。
⑧受信環境整備の強化に伴い，香港，イギリスでのケーブルTVおよび衛星放送のガイド誌に広告を出稿した。『NEWSLINE』と月間特集番組を組み合わせたクリエイティブを基本とし，そこに各言語対応の文言とチャンネル番号を付加して広告とした。
⑨成田空港では07年度に引き続き，南ウィング出発階の大画面を含む館内共調テレビ74か所で，ワールドTV紹介の１分スポットを１日８回上映した。また，コンコースのNHKワールド看板掲出の契約を継続した。出発カウンターではワールドTV番組表，ラジオ日本周波数表を配布した。
⑩その他，紙媒体等
・07年度に引き続き，雑誌「海外赴任2009リロケーションガイド」「ハロータイランド」「帰国ガイド　到着から帰国まで2009年度版」にNHKワールドのPR広告を掲載し，継続して周知をはかった。
・テレビ国際放送，プレミアムの受信方法を掲載した番組表（日・英）とラジオ国際放送の受信方法を掲載した番組・周波数表（日・英），イラストでNHKワールドをわかりやすく紹介するパンフレット（日本語のみ）を作成して，在外公館，日本人会や企業などに配布した。また，成田空港，羽田空港，関西空港，中部国際空港の出発ロビーなどにも配布して，海外旅行客や海外赴任者への周知を図っている。
・国内の外国語学習者を対象に，NHK語学講座の７言語のテキストに，国際放送のインターネットサービスを紹介する広告を掲載した。
・スタジオパークの改修に伴い，館内に設置のNHKワールドサービス全般について紹介するパネル展示の内容を見直した。

（２）モニター

　７月，NHKワールドTVを視聴する外国人を主な対象に，テレビモニターの募集を行った。ワールドTVで30秒スポットを約１か月間放送し，ホームページと連動して周知を図った。これに対し約170件の問い合わせがあり，25人を採用した。また09年度に向けて外国人モニター数の拡大を目指し，新規モニター募集を１月に行った。ホームページでの募集で，25人の応募があり，そのうち９人を採用した。これで65人体制となった。

（３）イベント

①７月６～９日に行われた「G8北海道洞爺湖サミット」国際プレスセンターでのワールドTV受信公開と，プレス宿泊ホテル共聴へのワールドTVチャンネル付加を実施。またサミット参加首脳陣の宿泊したホテル各室にも放送スケジュール表を配布し，来日した世界のプレスにワールドTVの存在をPRした。
②７月３～６日にフランス・パリで行われた

「JAPAN EXPO2008」にブース出展を行った。さらに『imagine－nation』の枠内特集でイベントの内容を紹介することで，若者向け番組のPRを行った。

③９月６～７日，東京渋谷の代々木公園で行われた「第３回ブラジルフェスティバル」にブースを出展した。ラジオ日本・ポルトガル語番組の公開放送を軸に，ポルトガル語ホームページへの動画投稿コーナーを設け，ポルトガル語HPに掲載するメッセージを募集，ポルトガル語サービスについてのパンフレットを配布，さらにブラジル関連やNHKワールドのPR番組を上映（名古屋局制作「ラティーノ・ノドジマン」等）するなどのイベントを実施した。延べ2,000人の来訪者を数え，NHKワールドおよびNHKの認知度アップという目的を果たした。

④10月30日～11月４日，幕張メッセで行われた日本最大のマルチメディア展示会「CEATEC JAPAN」において，マルチメディア振興センターからの依頼により，PtoP実用協議会ブースでの国際放送とJOOSTとの配信実験を紹介。ワールドTVのPRも行った。

⑤10月13～16日，フランス・カンヌで行われたテレビコンテンツ見本市「MIPCOM2008」において，NHKブースにNHKワールドTVのPRコーナーを設置。モニターでのPR映像展示，概要パンフ＆番組リスト配布などを実施した。複数のディストリビューターやIPTV会社等からの訪問を受けた。

⑥09年２月２日のリニューアルに合わせて，NHKワールドTVのチャンネルイメージの刷新を行った。スタジオのデザインからパンフレットに至るまでNHKデザインセンターが手がけ，ロゴ，キーカラーの制定，ニュース用新文字フォントの採用など，一元的なデザインコントロールを行った。これを受けて，ホームページの文字刷新，パンフレット，番組表，番組案内，さらにポスターに新イメージを反映させ新規に制作した。

⑦新NHKワールドTVの顔，ニュース専用のハイビジョンスタジオCU777とCU778は，チャンネルイメージの刷新に合わせた一元的なデザインコントロールの下に建築・デザインされた。12月24日にスタジオ開きを行い，それ以降，取材と見学に対応。１月21日には新『NEWSLINE』模擬送出の内覧会を行った。３月上旬までに韓国，中国などの海外メディアや国内民放の取材も含めて，国内外から700人を超える見学者を数えた。

⑧２月２～６日，リニューアルに合わせて放送センター正面玄関の大型モニターでワールドTVを上映。西口でのポスターの集中展示も同時に行った。

⑨広報活動の一環として毎年「NHKワールド」カレンダーを制作し，おもに海外の放送局，大使館，日系人協会，日本人学校などに配布して，NHKワールドを世界に広くPRしている。08年度も「NHKワールドカレンダー・フォトコンテスト」を開催し，「魅力列島にっぽん」をテーマとして写真を公募したところ，全国197人から1,372点の応募が寄せられた。写真家・浅井愼平氏を委員長として審査を行い，金賞（08年度は銀賞該当無し），優秀作品賞，佳作，努力賞の合計25点が選ばれた。これらの写真は，カレンダー，卓上カレンダーなどに使用するとともに，東京・スタジオパーク，福岡局，札幌局など全国39か所で写真展を実施した。

（４）国内広報番組への協力

①今井副会長の出演により“新しくなるテレビ国際放送”というテーマで国際放送をPRした。総合テレビ『三つのたまご』（2.1／11:30～11:50，広報局制作）

②新しくなったテレビ国際放送と『J－MELO』について紹介した。総合テレビ『土曜スタジオパーク』（2.7／14:00～15:00）

③新しくなるテレビ国際放送についての２分，１分スポットを放送した。総合テレビ（2.1／8:13～8:15，18:58～18:59）

Ⅱ．反　響

（１）投書数

○NHKワールド ラジオ日本

08年度の郵送とEメールによる投書数は２万2,630件で，07年度同期の投書数２万3,365件に比べて，2,735件の減少であった。このうち，郵送による投書数は１万1,677件で前年同期より3,354件減少し，一方，Eメールによる投書数は１万963件でこれは前年同期より629件，増加している。郵便による地域別では，アジア地域で2,613件，欧州地域で1,133件減少した。

○NHKワールドTV（NHKワールド プレミアムへの意見を含む）

４～２月のEメール，電話，郵便およびFAXでの投書は，ワールドTVに関するものが506件，プレミアムについては275件であった。

（２）反響の活用

テレビとラジオの反響は，週１回「反響メモ」

としてまとめ，イントラ上から閲覧できるようにしている。また「NHKワールド ラジオ日本投書概況」「ラジオ日本モニター報告」と「NHKワールド　テレビ海外番組モニター報告＆反響」を月1回まとめている。これらは，国際放送局の各番組担当者にフィードバックし，放送の質のさらなる向上に役立てている。

技術・施設

Ⅰ．テレビの送受信

「NHKワールドTV」は，英語による「外国人向けテレビ国際放送」で，09年2月に完成した専用スタジオから24時間毎正時ニュースを放送するなど編成を一新した。放送はノンスクランブル（無料）で，インテルサット社の3つのCバンド衛星を使い，ほぼ全世界をカバーしているが，受信には直径2.5メートル以上のパラボラアンテナが必要なため，NHKでは，小型のアンテナで受信できる放送衛星（Kuバンド）や地域のCATV等を通じてより簡便に視聴できるよう，受信環境の整備を進めている。08年度末には，8機の放送衛星でおよそ80か国のエリアをカバーし，約1億1,000万世帯で視聴が可能となった。（図1）

「NHKワールド プレミアム」（テレビ番組配信）は，「NHKワールドTV」と同じ3つのCバンド衛星で，海外のCATVや衛星放送局などの放送事業者にNHKの番組を有償で配信し，各事業者が放送する邦人向けのサービスである。

「テレビジャパン」は，北米JNG社（JAPAN NETWORK GROUP INC. ニューヨーク）と欧州 JSTV社 （Japan Satellite Television（Europe）Ltd. ロンドン）2社が，放送衛星（Kuバンド）を使って91年から実施している有料の邦人向け放送である。NHKや民放の番組にスクランブルをかけて放送している。

NHKは，「NHKワールド プレミアム」と「テレビジャパン」を使って，1日およそ5時間，ノンスクランブル（無料）の「邦人向けテレビ国際放送」を実施している。

Ⅱ．ラジオの送信

短波による国際放送「NHKワールド ラジオ日本」は，八俣送信所と海外中継所からの送信を実施した。効果的・効率的な送信体制の移行を図った結果，08年3月30日から海外中継体制を変更し，八俣送信所と7つの海外中継局からの送信を開始した。08年度も引き続き，八俣送信所と7中継局の体制で送信を行った。（図2）

○八俣送信所

送信機6台（300kW：5台，100kW：1台），アンテナ15式（カーテン型：14式，水平LP型：1式）で26方向に送信。「ラジオ日本」を1日76時間20分送信した。さらに，海外の放送機関と相互に送信施設を提供し合い相互の番組の中継を行う「交換中継」として，「ラジオ･カナダ・インターナショナル（RCI）」を2時間送信し，合計で1日78時間20分送信した。

（1）カナダ中継放送

86年10月に，サックビル中継局の250kW送信機などを借用し放送を開始。88年からはRCIとの交換中継とした。93年に借用中継を再開。08年度は，中米向けに2時間の交換中継のほか，北米東部，北米西部，中米，南米東部向けに合わせて4時間50分の借用中継を実施。合わせて1日6時間50分の送信とした。

（2）イギリス中継放送

92年7月から，スケルトン中継局などの300kW送信機などを借用し放送。08年度は，欧州向けに1日1時間50分の送信を実施。

（3）シンガポール中継放送

96年4月に，クランジ中継局の250kW送信機などを使用し借用中継を開始。08年度は，東南アジア向けに1日7時間の送信を実施。

（4）ダバヤ中継放送

03年4月から，ダバヤ中継局（アラブ首長国連邦）の500kW送信機などを借用し放送を実施。08年度は，欧州，中東・北アフリカ向けに，合わせて1日3時間30分送信。

（5）ボネール中継放送

03年10月から，ボネール中継局（カリブ海・オランダ領アンティル諸島）の250kW送信機などを借用し放送を実施。08年度は，南米，中米向けに，合わせて1日5時間30分送信した。

（6）フランス中継放送

08年3月30日にイスーダン中継局の500kW送信機などを借用し放送を開始。アフリカ西部，中部，南部，中東・北アフリカ向けに1日11時間送信を実施。

（7）ドイツ中継放送

08年3月30日に，ヴェルタハタル中継局の500kW送信機などを借用し放送を開始。欧州，南西アジア，中東・北アフリカ向けに1日3時間15分送信を実施。

図１「NHKワールドTV」等のカバーエリア（2009年３月末現在）

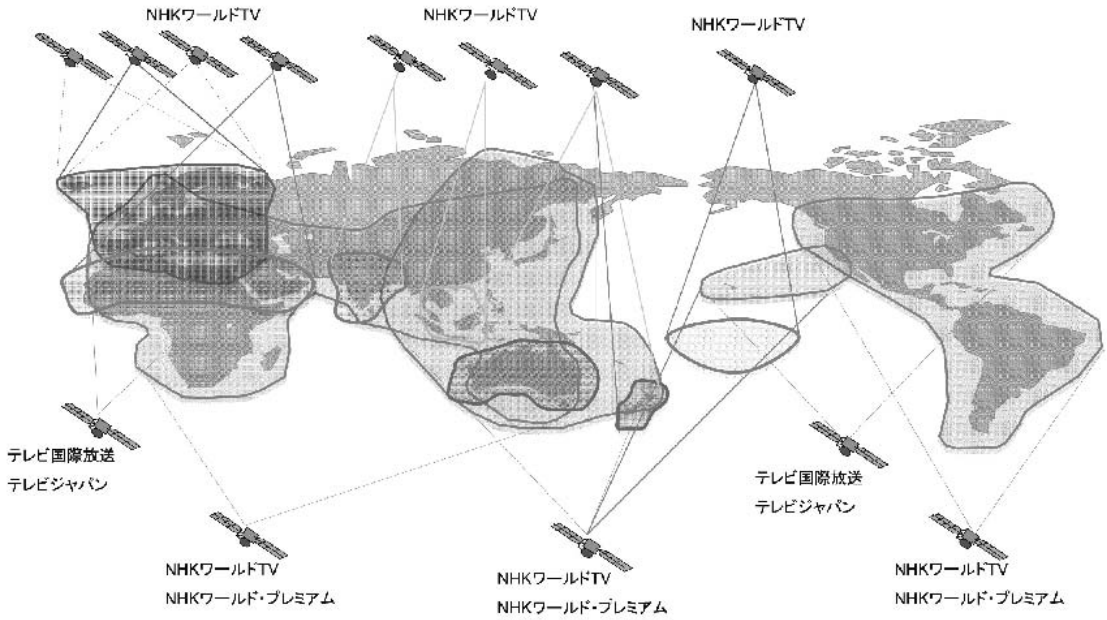
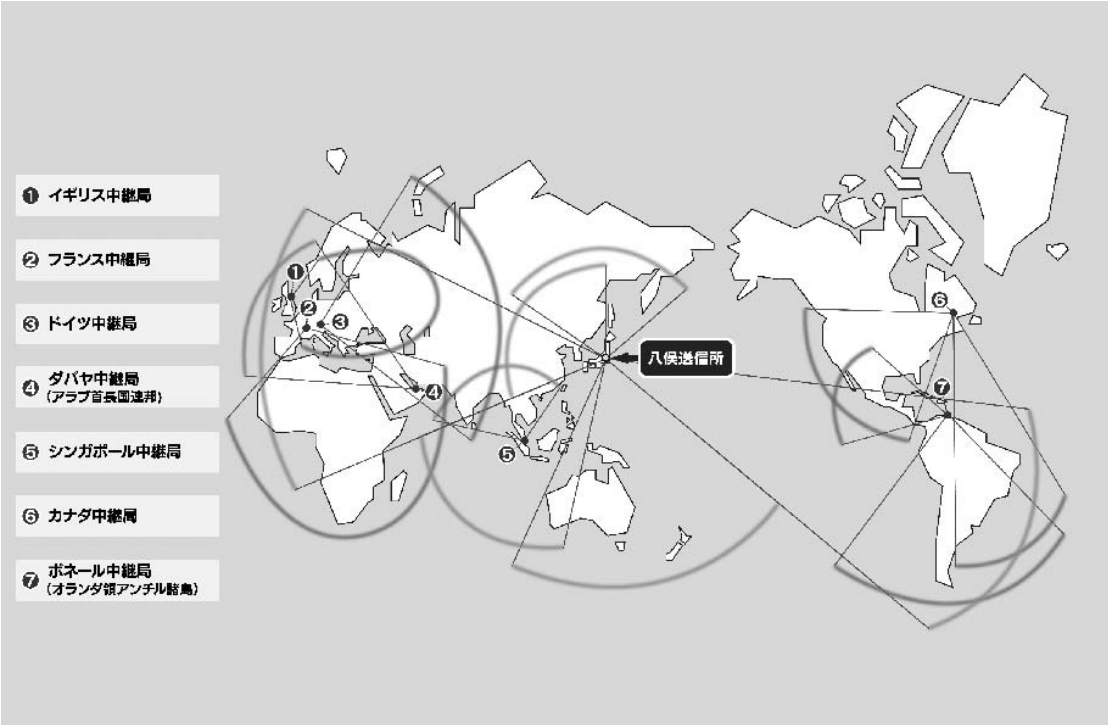
図２「NHKワールド ラジオ日本」の送信方向概念図（2009年３月末現在）